

台風第20号に対する農作物等管理技術対策について

令和3年10月27日
埼玉県農林部

台風第20号は27日、発達しながら北寄りに進み、28日から29日にかけて暴風域を伴って小笠原諸島付近に接近する見通しです。

現在の進路予想では関東地方への直接的な影響はないと考えられますが、今後の台風の進路等の気象情報に十分に注意してください。

農作物等管理技術対策資料を以下のとおり作成しましたので、参考としてください。

共通事項

○事前対策

- 1 排水路や明渠の点検・整備を行い、ほ場の停滞水に備える。
- 2 作物により防風網を設置するなど、強風に備える。
- 3 事前準備は台風接近前に終え、通過中は屋外での作業やほ場確認を避ける。

○事後対策

- 1 通過後、天候が安定したら、病虫害の発生を防ぐため薬剤防除を行う。
- 2 安全が確認できるまでは増水した河川や用排水路に近づいたり、管理作業を行わない。

園芸用ハウス

○事前対策

- 1 園芸用ハウスでは、フィルムの破れ、支柱、支線、ターンバックルなどを点検・補修し、必要に応じて筋交いを入れて補強する。
- 2 台風襲来直前対策
 - 出入口、天窓、サイドをしっかりと固定し、隙間からの風の吹込みを防ぐ。
 - 停電、浸水による漏電等が想定されるので、不必要な電源は遮断しておく。
 - 換気扇を稼働してハウス内部を負圧にし、被覆材のバタつきを防ぐ。
 - 大雨による施設内の浸水が心配される場合には、出入口に土のうを設置する。

水 稲

○事後対策

- 1 特に米麦2毛作地域は、麦類の播種作業を円滑に行えるよう、ほ場での速やかな排水を心掛ける。

大 豆

○事前対策

- 1 事前に排水溝が排水路につながっているか点検し、雨水が溜まらないようにする。

○事後対策

- 1 浸冠水したほ場では、速やかに排水する。

野菜

◎露地なす

○事前対策

- 1 強風に備えて、支柱や枝の誘引などについて点検・補強する。

○事後対策

- 1 通過後は速やかな排水に努めるとともに風雨により被害を受けた果実は早く摘果し、草勢の回復を図る。

◎施設きゅうり・トマト

○事後対策

- 1 台風通過後の急激な湿度低下による葉焼けを防止するため、施設の換気は徐々に行うとともに、遮光資材を活用して急激な温度上昇を防ぐ。
- 2 施設の密閉や多湿により、きゅうりではべと病、褐斑病が、トマトでは疫病の発生が懸念されるので速やかに薬剤防除を行う。

◎いちご

○事後対策

- 1 施設の密閉や多湿により、うどんこ病の発生が懸念されるので、速やかに薬剤防除を行う。
- 2 遮光資材を積極的に活用し、台風通過後の急激な温度上昇・乾燥を回避する。
- 3 本ぼが浸水した場合は、排水ポンプ等により強制的にほ場外に排水する。

◎ねぎ

○事前対策

- 1 強風による倒伏防止に備え、土寄せのできるものは、早めを実施する。

○事後対策

- 1 ほ場作業が可能になり次第、べと病・黒斑病・黒腐菌核病・小菌核腐敗病等を対象に薬剤防除を行う。
- 2 収穫期に達しているほ場では、黒腐菌核病の被害拡大が懸念されるので、ほ場作業が可能になり次第、速やかに収穫・出荷を行う。

◎ブロッコリー、キャベツ、はくさい

○事後対策

- 1 風雨により軟腐病、べと病、黒腐病の発生が懸念されるので、薬剤防除を行う。
- 2 天候が回復次第、早めに中耕を行い、土壌の通気性を確保する。
- 3 土壌が流亡した場合は、株の姿勢を修正し、株元に軽く土寄せを行って倒伏やねじれを防ぐ。

◎こまつな等葉菜類、にんじん等根菜類

○事後対策

- 1 葉の損傷等が見られた場合には、速やかに薬剤防除を行う。

果 樹

○事前対策

- 1 収穫できる果実は事前に収穫する。
- 2 棚や支柱、網などを補強し、樹体の揺れを少なくする。なお、収穫を終えたほ場の多目的防災網は収納する。

○事後対策

- 1 落下した果実は速やかにほ場外へ搬出する。
- 2 葉・枝・果実の損傷が発生した場合は、病害対策の薬剤防除を行う。

花植木

○事前対策

- 1 排水対策を行うとともに、フラワーネット等の点検・補強を行う。

○事後対策

- 1 倒伏した株は引き起こして株元を軽く押さえ、噴霧器等で付着した土を洗い流すよう薬剤散布を行い、病害の発生を予防する。
- 2 破損した茎葉は病害の発生源となることから速やかにほ場外へ搬出する。
- 3 浸冠水した施設、資材等は必要に応じ消毒を行う。
- 4 キク・宿根アスター等の栽培に係る電照・補光関連施設（電球、タイマー等）については、速やかに作動状況の点検を行う。

茶

○事前対策

- 1 被覆棚を点検し、被覆資材を縛っておく。製茶工場は雨水が侵入しないように十分に点検する。

○事後対策

- 1 幼木園等において風により幹が回されたものは、早めの土寄せや敷き草を行い、地際部や根を保護する。
- 2 茶工場や防霜ファン、被覆棚、茶園の法面等を点検し、修復を行う。

◎農薬はラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分確認の上、最終有効年月までに使用してください。

◎農薬の使用に際しては、以下のホームページで御確認ください。

●農林水産省 農薬登録情報提供システム

<https://pesticide.maff.go.jp/>